

平成29年度第1回

幸手市総合教育会議議事録

| | |
|-----------|-----------------------|
| 招 集 期 日 | 平成30年1月16日(火) 午前9時00分 |
| 開 会 場 所 | 幸手中学校 2階 会議室 |
| 開 会 の 日 時 | 平成30年1月16日(火) 午前9時00分 |
| 閉 会 の 日 時 | 平成30年1月16日(火) 午前9時55分 |

| 出席状況 | 職 名 | 氏 名 | 摘 要 | 職 名 | 氏 名 | 摘 要 |
|------|-------|-----------|-----|------|---------|-----|
| | 市 長 | 渡 辺 邦 夫 | 出席 | 教育委員 | 前 田 一 郎 | 出席 |
| | 教 育 長 | 山 西 実 | 出席 | 教育委員 | 満 木 信 吉 | 出席 |
| | 職務代理者 | 中 根 政 美 | 出席 | 教育委員 | 齊 藤 一 夫 | 出席 |
| | 教育委員 | 尾 島 紗 緒 里 | 出席 | | | |

書記：木村 博・大越 歩美

| 議事参与者 | 職 名 | 氏 名 | 職 名 | 氏 名 |
|-------|-----------|---------|-----|-----|
| | 教 育 次 長 | 小 森 谷 進 | | |
| | 政策調整課長 | 手 島 秀 明 | | |
| | 総 務 課 長 | 関 根 一 勝 | | |
| | 学校教育課長 | 森 祥 一 | | |
| | 社会教育課長 | 尾 崎 武 | | |
| | スポーツ振興課長 | 関 根 智 裕 | | |
| | 政策調整課主席主幹 | 藤 河 克 浩 | | |

| 議 事 | 顛 末 |
|---|--|
| <p>開 会 午前 9 時 00 分</p> <p>あいさつ</p> <p>日程第 1 協議調整事項 及び報告事項 協議調整事項第 1 号 幸手市教育大綱の更なる推進について</p> | <p>教育次長 開会を宣する。</p> <p>市長 あいさつする。</p> <p>教育次長 「幸手市教育大綱」の概要を説明する。</p> <p>市長 はじめに私から、教育大綱の項目ごとに、いくつか考えや意見などを述べさせていただく。</p> <p>1. 学校教育内容の充実（学力向上について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度の学力状況調査においては、教育長より結果が出たあと直ちに報告を受けたが、前年度より学力は向上しているのではないかと思う。中には全国でトップクラスの学校もあったとの報告も受けた。教育委員会及び各学校の先生方の努力であり、感謝申し上げる。 ・しかし、全体的に見ると、まだまだ満足できる結果であるとは言いがたい。 ・小学校に次期学習指導要領が導入されると、5～6 年生で英語が正式な教科となり評価の対象となる。私は幸手の子どもたちに、世界で活躍するような子どもになってほしい。そのためには社会に出て通用する知識と礼儀を身に着けてほしい。来年度、ALT の増員や学力向上のための予算を計上する方向で考えている。 ・これで十分ではなく、やはり教員の指導力向上や家庭での学習の習慣が必要であり、それについてはぜひ教育委員会で努力していただきたい。 <p>2. 児童・生徒の安心・安全の確保及び学校教育環境の整備（児童・生徒の安全対策について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへの安全対策ということで、今年度、行幸小学校の大規模改修と吉田幼稚園の保育棟耐震補強工事を実施した。 ・昨年 7 月からは全小中学校の普通教室はもちろん、特別教 |

室や管理諸室も含めエアコンを整備、稼働させ、学習環境も整えることができた。

- ・来年度からは未改修となっている学校のトイレを洋式化することにし工事に着手していく。幸手中学校と東中学校の柔剣道場吊天井の補強工事も実施する予定となっている。
- ・来年度も子どもたちが安全で安心して学習できるよう、環境整備に取り組んでいく。
- ・残念なことに昨年4月にさかえ小学校の児童が下校後の交通事故により尊い命を落とされた。市長として本当に心の痛む事故であった。このような悲しい出来事は二度と繰り返してはならないと思っている。市としても、街路灯の増設や危険箇所の改善など、通学路の安全確保に引き続き努めていく。また警察との協力体制を強化し、子どもたちが被害者となる事故をゼロにしたい。
- ・学校や地域における子どもたちへの安全教育の徹底や地域の皆さんの協力が不可欠である。私も機会あるごとに地域の皆さんにはお願いしていく。ぜひ教育委員会としても、学校を通じて子どもたちに安全教育を徹底していただくとともに、スクールガードやこども110番など、地域の皆さんに協力を呼びかけていただきたい。
- ・子どもたちの健やかな成長を、市と教育委員会で協力して進めていきたい。

3. 学校教育環境の整備（幼児教育について）

- ・吉田幼稚園に関する検討については、慎重なる審議をしていただき感謝する。教育審議会の答申内容については事務局より概要の報告を受けているが、教育委員の皆さんには吉田幼稚園の現況をしっかりと踏まえ、将来を見据えた結論を出していただきたい。
- ・私は決して幼児教育を軽んじているわけではなく、重要性も認識している。教育委員会においても、吉田幼稚園の運営には尽力いただいているし、園長はじめ教職員の皆さんも、真剣に、そして温かく子どもたちと接してくれている。しかし、現在の吉田幼稚園が置かれている状況は、立地場所も含め、今までと同じような運営を行っていくことは厳しいと考えている。

4. 社会教育の充実（スポーツ振興と生涯学習について）

- ・吉田小学校、東中学校を卒業した岡崎君がオリックスに入

団し、幸手市からプロ野球選手が誕生した。岡崎君はスポーツ少年団で野球を始め、それがプロへの第一歩となった。昨年、兵庫の岡崎君を訪ね激励してきた。その時の様子をビデオに撮り市民まつりで設けた特別ブースで放映した。そのビデオを子どもたちは目を輝かせて見ていた。子どもたちが夢を持つことはとても大切なことである。夢を持った子どもたちの中から、岡崎君に続く、第二、第三のプロ野球選手が誕生してほしい。

- ・野球だけではなく、サッカーやバスケット、陸上で活躍する選手もどんどん幸手から誕生してほしい。
- ・さらに、高齢社会を迎え、成人した後の健康づくりも重要になってくる。幸手市は、健康づくりのための自主グループ活動に参加する高齢者の割合が、人口当たりで比較すると県内63市町村中、第2位となっている。ぜひ教育委員会として、体育協会やレクリエーション協会、スポーツ少年団などと協力し、幸手市の更なるスポーツ振興策に取り組んでいただきたい。
- ・生涯学習という点では、公民館の活性化、生涯学習・地域活動の拠点としての公民館利用を推進するため、昨年度より、地区市民センターを併設したうえで各公民館に館長を配置した。しかし、私が思い描いていた公民館の活性化にはまだ遠い。
- ・私はまた館長たちも若く、地域とのつながりが希薄になっているのではないかと思う。もっと地域に溶け込んで、地域の方々といろいろな話をし、公民館に来ていただきたい。そのため、まだ2年ではあるが、来年度から公民館長を、退職した校長先生にお願いしたいと考えている。校長先生は地域との繋がりも深いし、若い職員の指導もしていただける。校長先生の豊富な見識を、ぜひ幸手市の生涯学習振興のためにお借りしたい。数年かけて退職校長にお願いしたいと考えている。

5. 青少年の健全な育成（PTAとの連携・協力について）

- ・子どもたちの教育や育成といった面で、家庭での教育というのがとても大切だと思っている。その中でPTAの役割はとても重要であり、PTAとの連携は不可欠である。市や教育委員会とPTAとの関係を、お互いにとって、より有益なものにしたい。更に連携を深めたいと考えているので、協力をお願いする。

《意見・要望》

齊藤委員

先日、市内の学校を訪問して、勉強の仕方など、素晴らしいと感じた。子どもたちは先生や指導者の努力によって、成績も向上している。熱心な先生がいないと成績も低下してしまうと思うので、今後も、良い先生が幸手に来ていただけるよう努力していただきたい。

尾島委員

児童・生徒の安心・安全については、保護者の1人としても大切なことと感じている。市長から、学校の施設だけでなく通学路の安全確保のお話もいただいたが、去年4月に痛ましい交通事故があった。自転車講習が小学校4年生のみということだが、中学生になると自転車通学も始まるので、中学生にも改めて自転車講習を行っていただきたい。自転車が加害者になる可能性があることも含めて、講習のような場を設けていただきたい。

社会教育の充実については、最近、地域の方とお話しする機会があった。昔は生涯学習が盛んであったが、今は、あまり行われていないとの話を聞いた。基本目標の中に、教育文化の豊かなまちとあるが、この実現につながるよう子どもたちに様々な体験をさせ、将来の生涯学習に生かすことのできる環境を作っていただきたい。

先日、幸手市のPR動画についての話を聞いた。早速見てみたが、子育てに特化した素晴らしい内容であった。もっと多くの方に見ていただければと思う。

市長

自転車講習は小学校4年生だけであり、中学生にも実施していただきたいとのことであるが、教育委員会・学校ではどうか。

教育長

自転車講習については、年間に1時間から2時間実施されている。また、自転車は加害者にもなるとの話もあったが、来年度以降は、小中学生の自転車保険の加入義務化もあり、PTAの協力をいただきながら、保険の加入を進めてい

きたい。

市長

PR動画について、今月の新聞に、「選ばれるまち」ということで、掲載があった。

幸手市は、歴史や文化がすばらしく豊かであるが、外への発信がうまくできていなかった。また、外からの情報を得るのも難しいものがあった。今年の4月に機構改革を行い、シティプロモーション課を新たに作る。幸手市外の方はもちろん、幸手市民にもっと幸手を知っていただくようにと考えており、今後の生涯学習の進展にもつながっていくと思うので、色々な情報を発信していきたい。

PR動画の話があったが、幸手駅舎が変わるので、VR動画も作り、ホームページにも掲載されている。ぜひ見ていただいて、市民の皆さんにも伝えていただきたい。

前田委員

昨年、エアコン設置やトイレの改修を進めていただいて、児童・生徒の評判が良いとの話を聞いている。市長にお礼を言いたい。

市長の話の中で、学力向上のための予算を計上するとあったが、今後、市長は幸手市の学力をどのくらいまで上げていきたいのか伺う。

市長

学力は高いほど良いと思うが、(学校格差がある中で、格差をなくし)全体的なレベルアップを図っていきたい。その結果として、県平均・全国平均はクリアしていきたい。

前田委員

教育委員会としても、県平均までは上げていきたいと考えている。これを1つの目標として、教育委員会としても考えていく必要があるのではないかと思う。

次に幸手アフタースクールについては、学力向上のためには不可欠な事業と考えているが、市長の考えを伺う。

市長

アフタースクールについては、私は、学力向上のためには

必要であると思い、取り組んでいる。テレビで、学力向上のために夏休みを減らす自治体について賛否両論があるとレポートしていたが、私は、学校が終わった後に、子どもたちが学校の授業とは別に、社会的な部分を含めて勉強することは、大変有意義であると考えている。

前田委員

土曜授業について、今、年間2分の1日ずつで8日間実施しているが、今後についてはどのように考えているのか伺う。教員の勤務時間や、子どもたちの土曜日の活動についても色々な考え方があがるが、個人的には、少ないと考えている。

学校教育課長

今、半日単位で8回、土曜日授業を行っているが、その中で、例えば、保護者の方に授業を見ていただくなど、通常の授業とは違う活動を、土曜日に充てている。平日に実施していた行事を土曜日に充てて、平日の授業時間を確保しているということでもある。今、土曜授業は、十分機能していると考えている。

前田委員

安全面の話の中で、街路灯について、環境整備組合をやめたお店の街路灯についての話がある。自治会では金額的な負担は出来ないというところもある。市で金額的な部分を持ってもらえないか。

市長

街路灯には種類があつて、市管轄のもの、自治会が負担しているもの、また、県や国の街路灯もある。いくつかの自治会から話は聞いているが、環境整備組合を抜けた店などの街路灯について、自治会で管理しているところもある。まずは、自治会に相談してもらいたい。

昨年各自自治体の5大ニュースで、久喜市は、街路灯を全部LED化したという記事があつた。街路灯の数を考えた場合、幸手と久喜を考えると、幸手は久喜の半分ほど。しかし、エリアで考えると、幸手は久喜よりも狭いエリアで街路灯を設置している。まちの規模で考えると、幸手市は多くの

街路灯を設置している。

前田委員

公民館の館長の役割について、今後、退職された校長先生が館長との話があったが、もう少し詳しく説明いただきたい。

市長

現在、公民館は地区市民センターと併設している。公民館長というと地域との関わりが強いものというイメージがある。学校の先生方は、地域とのつながりも強く、また、公民館は生涯学習の拠点となることから、学校の校長先生を経験した方に協力いただいて、地域との関係をより良く築いていきたいと考えている。何年かかけて、公民館館長を代えていきたい。

前田委員

地域とのつながりを大切にするということであれば、北公民館の館長は、北地区に住んでいる方、もしくは、北地区にある学校の経験者が良いと思うがどうか。

市長

北公民館だから、北地区の先生ということではなくて、幸手全体を把握している、幸手市内の校長経験者を考えている。

総務課長

公民館館長については、市長の考え方もいただき、どのような形で進めるのがよいか検討・準備を行っている。早い段階で、教育委員の皆さんに、提案・説明していきたい。

満木委員

学力向上に向けて、教育長はじめ学校の先生方には、非常によくやっていただいている。小学校に上がる前に、活性化された脳を壊さないことが大事である。ニュースにもなっているが、ゲーム脳というのが、依存症という病気であって、アルコールや薬物中毒と同じ位置付けであるという。ゲームなどのコンテンツが入ったスマホについては、テレビ

やゲーム、インターネットなど、全ての機能を備えている。これに規制をかけることが必要であると考えている。スマホやゲームを4時間以上行くと、脳は、薬物依存やアルコール依存と同じように、脳のある部分が縮小してしまう。認知機能、意欲、運動機能などの低下とともに、中毒症状を起こして、スマホを取り上げると、凶暴性を示すようになる。依存を防ぐために、行政と教育委員会が、共にこの問題に対応しなければならない。県をあげて、スマホ・携帯を禁止しているところもある。条件を付けて禁止している自治体もある。

行政として何が出来るかを考え、法的な規制を掛けるなどについては営業の自由との関係もあるが、スマホ規制と教育長の考える学校教育との両輪を実施した場合、幸手市における学力の向上は確実なものとなると思う。検討していただきたい。

市長

スマホについては、我々よりも子どもたちのほうが進んでいる。今後、どう進んでいくのかわからない部分もあり、心配される場所である。今後、市としても検討していきたい。

中根教育長職務代理者

市長には、いつも教育委員会を支援していただいている。各学校へのエアコンの設置について、大変ありがたく感じている。また、学力向上を含めて、学校教育専門員の配置を実現していただいて、大きな効果が上がっていると考えている。トイレの改修を含めて、耐震補強工事や計画的な施設環境の充実など、大変ありがたく思う。

PR動画や、駅のVR動画についても、感動した。子育ての幸手市という、プロモーションビデオはよく出来ていた。幸手市に住みたいと思う保護者が増えていただけたら、うれしいと思う。次の段階として、子育てと同様に、幸手市の教育が大きな柱となる。引き続き、教育への支援をお願いしたい。

学校もがんばっており、地域、家庭、そして行政が加わり、チーム学校あるいはチーム幸手という意識で、教育委員会も取り組んでいかなければならないと考えている。市長に

は今後も協力をお願いしたい、

学力向上に向けて、教育委員会では、継続して協議を行っており、取組みも進めている。その成果が徐々に出てきている。子どもたちに、全国的な平均点だけではなく、生きる力となり、将来、世界で活躍できる子どもたちを育てたいという市長の考えにつながるような、真の意味での学力を考えながら、子どもたちを育てていきたい。

齊藤委員

大きな通りが通学路になっているところもあるが、通学路として、最短距離ではなく安全な道を選べないかと考えている。

土曜授業について。違う学校の子どもたちが1つのチームに入っていることもある。例えば、土曜日の試合の際に、来られる子どもたちと来られない子どもたちがいる。同じ日にならないかという意見もあった。

教育次長

委員の皆さんからご意見等いただいたが、教育長からお話をいただきたい。

教育長

委員の皆さんの様々な意見を、いかに具体化し、施策に生かしていくことが大事である。市長部局と調整しながら進めていきたい。

教育次長

最後に、市長より総括をお願いしたい。

市長

「幸手市教育大綱の更なる推進について」ということで、教育委員の皆さんからさまざまな意見をいただいた。学校教育や社会教育に対する、皆様の真剣で、熱い思いを感じた。私も、幸手市の将来を担う子どもたちにとって、大変重要な学校教育の推進、そして、生涯学習、スポーツ、文化振興を含めた社会教育の発展については、多くの行政課題の中でも、大変重要であると認識している。

今回の皆さんの意見を生かし、また、今後も皆さんとの連

| | |
|---|--|
| <p>日程第 2 その他</p> <p>閉 会 午前 9 時 5 5 分</p> | <p>携を図りながら、子どもたちの輝く未来のため、そして、幸手市の更なる発展のため、教育環境の充実に努めてまいりたい。ご理解とご協力をお願いする。</p> <p>総務課長 今年度の総合教育会議については、現時点では、次回の予定はなく、本日の会議のみの開催となる。平成 3 0 年度には、新たな「教育大綱」の策定となる。来年度以降については、総合教育会議の回数を、増やすことも考えている。市長、教育委員の協力をお願いしたい。</p> <p>教育次長 閉会を宣す。</p> |
|---|--|

| | |
|-------------------------|---|
| <p>他特に重要 と認める事項</p> | <p>なし</p> |
| | <p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">平成30年 2月22日</p> <p style="text-align: center;">教育委員 前田 一郎</p> <p style="text-align: center;">教育委員 満木 信吉</p> |